



活動報告書

2022 年 1 月 23 日





例年行っているオオムラサキの越冬幼虫調査。今回は 10 人以上の方がご参加くださいました！
 今年はどのくらい見つけれられるでしょうか？



まずはオオムラサキについての竹内さんによる講義です。
 オオムラサキについての理解を深めてから調査に向かいます。



B 地区を通り抜けて調査地へ向かいます。
久しぶりに見る B 地区を楽しみます。



冬になった B 地区の景色です。
夏生い茂っていたヨシも皆茶色くなっています。



移動の途中にカヤネズミの巣を観察しました。
ヨシの葉を細く裂いて丸めてあります。写真の中から見つけられますか？



目的地が近づいてきました・・・！



オオムラサキはエノキの木の下で越冬します。
今回はこの3本で調査を実施しました



方位と木からの距離で区画を仕切って調査します。
木に近いところや日当たりの良いところに多いそうです。



それぞれが担当する区画を調査します。
3本の木に分散して作業を行いました。



区画内の落ち葉を全てトレーに移し、一枚一枚裏返して確認していきます。



幼虫発見！

この葉っぱにはオオムラサキとゴマダラチョウの幼虫の両方がいました。
背中に突起が4つあるのがオオムラサキ、3つなのがゴマダラチョウです。



作業が早い方はあっという間に次の区画へ移ります。



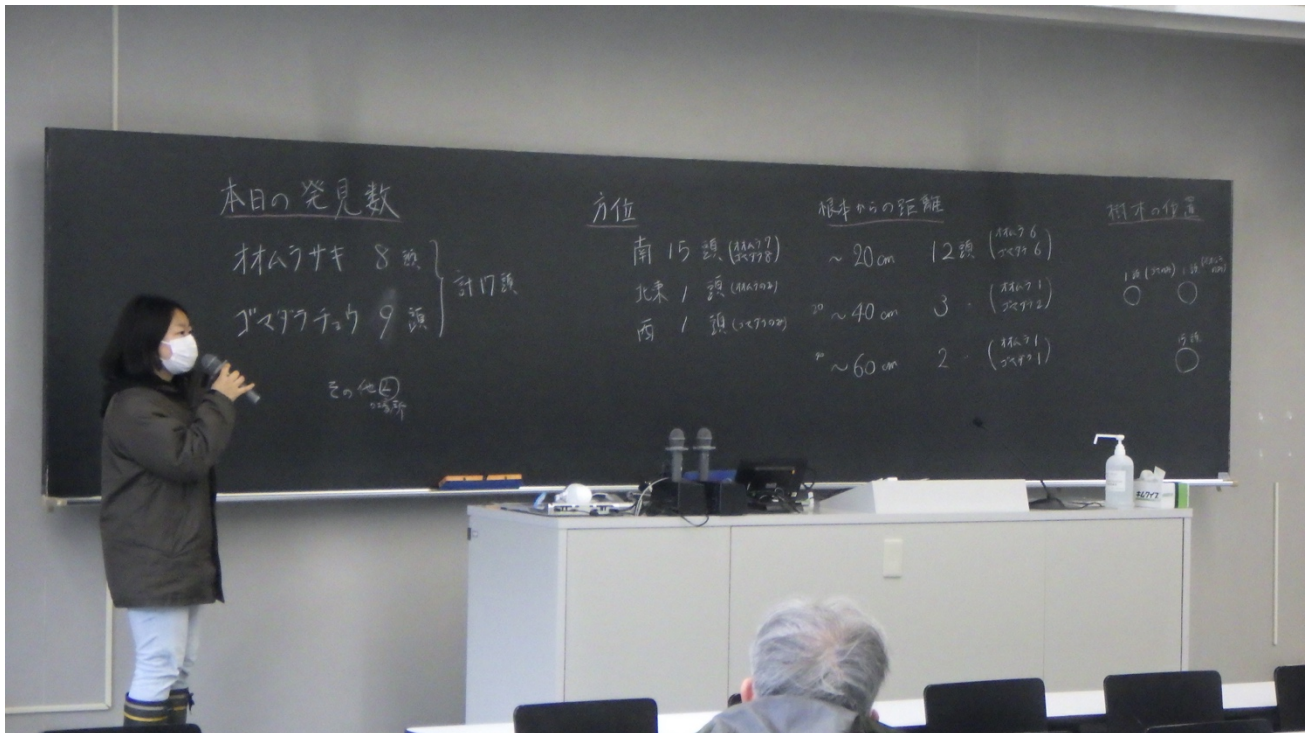
幼虫を見つけられるように、真剣に落ち葉をめくります。



見つかった幼虫たち(一部)。
今年は例年より多くのオオムラサキ幼虫を確認することができました！



幼虫を見つけたらノギスを使って計測します。
起こさないようにそっと測りました。



最後に、教室へ戻って調査結果の確認をしました。
方位や木からの距離に着目して整理していきます。



調査の結果、今年はオオムラサキ8頭、ゴマダラチョウ9頭の、
合計 17 頭を確認することができました！



ご参加ありがとうございました！



人間科学部 3年 平松未帆